仙台市障害福祉計画　第６期　仙台市障害じ福祉計画　第２期

（障害のある人や子どもが福祉サービスなどを使うための計画）

計画の大切なところを　わかりやすく説明するばん

令和３年３月　仙台市

この計画について

この計画は次の２つの計画を１つにまとめたものです。

仙台市障害福祉計画

　障害のある人が福祉サービスなどを使うための計画

仙台市障害じ福祉計画

　障害のある子どもが福祉サービスなどを使うための計画

なぜこの計画をつくるのか

障害のある人や障害のある子どもが　ひとりひとりにあった福祉サービスなどを使って　安心して生活できるように計画をつくっています。

だれのためにこの計画をつくるのか

この計画は　仙台市で生活する障害のある人や障害のある子どもや　その家族のためにつくっています。

障害者手帳を持っていない人でも　困っている人がいれば　手助けしていきます。

この計画はいつまでのものか

令和３年度から令和５年度までの３年間の計画です。

仙台市で障害者手帳を持っている人の数はどれくらいか

令和元年度の障害者手帳を持っている人の数

しんたい障害者手帳　32718人

療育手帳　9105人

精神障害者保健福祉手帳　10355人

合計52178人

２つ以上手帳を持っている人の数も含みます。

計画で目指していること

施設で生活している人が　施設から出て　家やグループホームなどで　生活できるようにします。

障害のある人の障害が重くなったり　障害のある人がとしをとったりしても　自分が住みたい地域で安心して生活できるように　生活をお手伝いするしくみづくりを進めます。

福祉施設で働いている　障害のある人が　会社などで働くための　お手伝いをします。

また　会社などで働いている障害のある人が　働き続けられるようにお手伝いします。

とても重い障害のある子どもや　いつもお医者さんや看護師さんの手助けがいる子どもなど　ふつうに暮らしていくことが　大変な子どもやその家族について　病院や学校や福祉施設などと　力をあわせて　生活をお手伝いします。

また　いつもお医者さんや看護師さんの手助けがいる　障害のある人についても同じように　生活をお手伝いします。

困ったことがあった時に　障害のある人や　その家族が相談しやすくなるようにします。

障害のある人や障害のある子どもが　よりよい福祉サービスを受けられるようにします。

どのように取り組んでいくのか

障害のある人や　その人といっしょのまちにくらしている人などと　力をあわせて計画を進めていきます。

いろいろな障害のある人に　計画をお知らせするために　点字や音声を使ったり　大きく印刷したりするなど　わかりやすい方法で計画をつくります。

つくった計画は　仙台市役所や区役所などで配ります。

また仙台市のホームページなどで　計画をお知らせしていきます。

仙台市障害者施策推進協議会で話し合ったり　障害のある人やその家族などから　話を聞いたりしながら　計画がどれくらい進んでいるかを確かめていきます。

仙台市障害者施策推進協議会とは、障害にくわしい人や　障害のある人や　障害のある人を手助けしている人たちが　集まって話合いをする場です